

小樽市 令和 8 年度中小企業等実態調査アンケート 調査票

本アンケートは、「小樽市中小企業振興会議」での議論及び小樽市が実施する企業支援策の検討に活用するために実施するものです。ご回答内容は統計的に処理し、個別企業の情報が公表されることはありません。

お忙しいところ恐れ入りますが、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

【回答方法】

下記宛先へ、
郵送又は FAX によりご回答ください。

〒047-8660

小樽市花園 2 丁目 12 番 1 号
小樽市産業港湾部産業振興課 行
FAX : 0134-33-7432

【アンケート内容】 所要時間：約 5 分

- 1 全体的な経営課題（5 問）
- 2 個別の経営課題 ——— ①人手不足（5 問）
————— ②事業承継（4 問）
- 3 市への要望（自由記述）

※設問数は最大。回答内容によっては回答不要となる設問もございます

各設問について、該当する番号に○をつけてください。
一部設問については、記述もお願いいたします。

1 全般的な経営課題

Q1 直近 3 年間の営業利益の推移として当てはまるものはどれですか。

1. 向上している 2. やや向上している 3. 横ばいである 4. やや悪化している 5. 悪化している

Q2 次の経営課題の中から貴社が優先的に取り組みたい課題を 3 つ、優先度の高い順に番号を記載してください。

※現在既に取り組んでいる課題のうち、今後さらに強化・拡大を検討しているものも含まれます。

1 番目 _____ 2 番目 _____ 3 番目 _____

選択肢

- | | | | |
|----------|----------|-------------|-------------|
| 1. 人材不足 | 2. 事業承継 | 3. 売上や販路の減少 | 4. デジタル化の遅れ |
| 5. 設備老朽化 | 6. 人件費上昇 | 7. 原材料価格高騰 | 8. 資金繰り |

Q3 Q2 で選択した 3 つの課題のうち自己資金を投じてでも取り組みたい課題を 1 つ選択し、番号を記載してください。※該当がない場合は「該当なし」と記載してください。

取り組みたい課題 _____

▼▼ Q3 で「1」～「5」以外を選択した場合は、次の Q4～Q5 は回答不要ですので、Q6 へお進みください ▼▼

Q4 Q3 で選択した課題に対する取組状況として当てはまるものはどれですか。

- | | |
|------------------------|-----------------------|
| 1. 既に取り組んでいて効果が出ている | 2. 既に取り組んでいるが効果は出ていない |
| 3. 積極的に取り組みたい（1.2 年以内） | 4. 積極的に取り組みたい（中長期） |
| 5. 条件が合えば取り組みたい | |

Q5 Q3 で選択した課題の解決に当たり、下記の課題は障壁となっていますか。それぞれの課題ごと、考えに合致するものに○をつけてください。

	非常に当てはまる	やや当てはまる	あまり当てはまらない	当てはまらない
資金不足				
人材不足				
ノウハウ不足				
時間不足				
支援制度等の情報不足				
手続き・申請が煩雑				
相談する専門家等がない				

2 個別の経営課題 — ①人手不足の状況について

Q6 人手不足の状況について当てはまるものはどれですか。

1. 深刻に不足している 2. やや不足している 3. あまり不足していない 4. 不足していない

▼▼ Q6 で「3」または「4」を選択した場合は、次の Q7～Q8 は回答不要ですので、Q9 へお進みください ▼▼

Q7 不足している雇用業態を選択してください。（複数回答可）

1. 正社員 2. アルバイト・契約社員等（フルタイム） 3. アルバイト・契約社員等（パート・短時間）

Q8 人手不足による影響について、それぞれ当てはまるものに○をつけてください。

	非常に大きい	やや大きい	あまり大きくない	影響なし
受注制限				
売上減少				
労働時間増加				
営業時間・稼働の縮小				
サービス品質低下				
教育・人材育成が十分にできない				
新しい取組ができない				

Q9 人手確保対策の実施状況について、それぞれ当てはまるものに○をつけてください。

	実施しており 効果が出ている	実施しているが 効果が出ていない	検討中	実施していない
情報発信・企業 PR				
高齢者（シニア）雇用				
女性活躍推進の取組				
スポットワークの活用				
外国人材活用				
賃上げ				
デジタル化（DX）・省力化				
アウトソーシング(業務委託)				
定着対策(福利厚生・働き方改善)				

Q10 人手不足に関する支援策として希望するものを2つまで選択してください。

- | | | |
|-----------------|--------------------|-----------------|
| 1. 企業PRに関する支援 | 2. マッチング支援 | 3. シニア雇用に関する支援 |
| 4. 女性活躍推進に関する支援 | 5. スポットワーク活用に関する支援 | 6. 外国人材活用に関する支援 |
| 7. デジタル化に関する支援 | 8. セミナー・研修 | 9. 専門家派遣・相談 |
| 10. 特になし | | |

2 個別の経営課題 — ②事業承継について

Q11 後継者及び事業承継の予定の有無について、当てはまるものを選択してください。

- | | |
|--------------------------|----------------|
| 1. 後継者があり、5年以内の承継が決まっている | } Q14 へお進みください |
| 2. 後継者があり、将来的に承継予定 | |
| 3. 後継者がおらず、承継未定または検討中 | } Q12 へお進みください |
| 4. 後継者がおらず、廃業を予定 | |
| 5. 不明・分からない | → Q16 へお進みください |

Q12 後継者が見つかる場合は、承継したいですか。

1. はい 2. いいえ

Q13 Q12で「いいえ」を選んだ場合、その理由を選択してください。（複数回答）

- | | |
|-------------------|----------------------|
| 1. 業績の将来的な不安 | 2. 設備等の老朽化 |
| 3. 人手不足が解消できない | 4. 資金不足 |
| 5. 社内等周囲の同意が得られない | 6. 手続きや準備が煩雑で、手が回らない |
| 7. 必要性を感じていない | |

Q14 事業承継に関する課題について、それぞれ当てはまるものに○をつけてください。

	非常に大きい	やや大きい	あまり大きくない	課題ではない
相談できる相手がいない・分からない				
後継者（候補）の確保・育成				
事業承継の適切なタイミングや手順				
株主や従業員等の理解				
仕入先や販売先への説明と関係維持				
事業承継にかかるコスト対策				
借入金や債務保証の引き継ぎ				

Q15 事業承継に関する支援策として希望するものを2つまで選択してください。

- | | |
|------------------|------------------------|
| 1. 専門家派遣による伴走支援等 | 2. セミナー・研修 |
| 3. マッチング支援 | 4. 事業承継時の優遇制度（税制・補助金等） |
| 5. 特になし | |

Q16 本アンケートの回答内容に基づいて、市から事業承継に関する情報提供や無料の個別相談のご案内を差し上げてほしいでしょうか？

- | | |
|------------|-------------|
| 1. 案内を希望する | 2. 案内は希望しない |
|------------|-------------|

3 その他市への要望

（自由記述）

4 企業情報（記入必須）

企業名 ※個人事業主の場合は屋号		業種 ※下記選択肢より	
所在地		従業員数	
(〒)		人	
代表者の年代 (該当に○)	1. 50 歳以下 2. 51 歳～55 歳 3. 56 歳～60 歳 4. 61 歳～65 歳 5. 66 歳～70 歳 6. 71 歳～75 歳 7. 76 歳～80 歳 8. 81 歳～85 歳 9. 86 歳～90 歳 10. 91 歳以上		
担当者	氏 名		
	TEL		
	MAIL		

業種選択肢

- | | | | |
|----------------|-----------|-------------|--------------|
| 1. 農業・林業・漁業 | 2. 建設業 | 3. 製造業 | 4. 情報通信業 |
| 5. 運輸業・物流 | 6. 卸売業 | 7. 小売業 | 8. 金融・保険・不動産 |
| 9. 宿泊・飲食サービス | 10. 医療・福祉 | 11. 教育・学習支援 | 12. その他サービス業 |
| 13. 当てはまるものがない | | | |